

議会広報

かみいち

2022

33号

令和4年10月14日



9月定例会の要点 P2
採決一覧 P3
委員会報告 P4
一般質問 P5~14
視察研修報告 P15
町民の声 P16

(写真)ミライの種 つながる場上市フェス
白萩南部 種地区(8月21日)

発行 / 上市町議会
編集 / 議会広報特別委員会



令和4年(2022年)9月定例会の審議の要点

令和4年度補正予算

一般会計 1億7790万円を増額し **総額106億2156万円**に

- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の更なる活用
- ・ 物価高騰への手厚い対応

9月定例会は、9月2日（金）から16日（金）までの15日間にわたって開かれました。一般会計・各事業特別会計・病院事業会計の補正予算6件（うち専決処分1件）、条例の制定および一部改正4件、昨年度の決算認定および剰余金の処分あわせて10件、その他1件、合計21件の議案について審議を行い、すべて原案のとおり可決・承認・認定しました。

本定例会では、10名の議員が町政一般に関する質問（一般質問）を行いました。

【9月補正予算による主な事業】

- ・ 65歳以上のみの世帯に福祉燃料券(5000円/世帯)・・・1230万円
- ・ 公共交通機関に燃料価格高騰対策支援・・・・・・・・・・356万円
- ・ 新型コロナウイルス追加予防接種事業・・・・・・・・・・8465万円
- ・ 道路改良事業(下経田上条沖線、和合柿沢線等)・・・・・・・・2561万円
- ・ かみいち総合病院看護職員等処遇改善手当の増額・・・・・・・・1158万円
- ・ 新町交差点の改良準備工事(防災空地として活用)・・・・・・443万円

9月議会よりペーパーレス会議用システム本格導入!!



議案採決一覧

○賛成 ×反対 □欠席

議案	議案	議長	議員											採決結果		
		堀田喜久男	百塚 怜	廣田 透	椎名 寛子	宮波 紀子	酒井 一好	廣田 泰三	松本 寛	寺西 庄司	松谷 英真	碓井 憲夫	酒井 桂之			
9月定例会	第50号	専決処分の承認を求める件(令和4年度上市町一般会計補正予算(第2号))	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第51号	令和4年度上市町一般会計補正予算(第3号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第52号	令和4年度上市町墓地公園事業特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第53号	令和4年度上市町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第54号	令和4年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第55号	令和4年度上市町病院事業会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第56号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第57号	職員の育児休業等に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第58号	上市町重度心身障害者等医療費助成条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第59号	字の区域の変更に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第60号	令和3年度上市町一般会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第61号	令和3年度上市町土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第62号	令和3年度上市町墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第63号	令和3年度上市町地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第64号	令和3年度上市町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第65号	令和3年度上市町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第66号	令和3年度上市町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第67号	令和3年度上市町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	第68号	令和3年度上市町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
	第69号	令和3年度上市町病院事業会計決算認定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第70号	特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の特例に関する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

会議出欠表

○出席 □欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	堀田喜久男	百塚 怜	廣田 透	椎名 寛子	宮波 紀子	酒井 一好	廣田 泰三	松本 寛	寺西 庄司	松谷 英真	碓井 憲夫	酒井 桂之
9月2日	本会議、全員協議会	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○	○	○
8日	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	総務教育常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	○
12日	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-
13日	決算審査特別委員会(一般会計・特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	決算審査特別委員会(水道事業会計・病院事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16日	全員協議会、本会議(委員長報告・討論・採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会報告

総務教育 常任委員会

総務課

新町制70周年を記念し制作される映像はどのように発表されるのか。

令和5年9月10日に北アルプス文化センターで開催される記念式典で発表。また、図書館や地区公民館にDVDを配布する予定。

財務課

高齢福祉燃料費補助は、ガソリン高騰における国が行う補助との関連はあるか。

関連はない。今回、町が行う福祉燃料費補助は、65歳以上のみの世帯1世帯につき、5000円の福祉燃料券を配布するもの。



公開10周年記念制作パネル

企画課

西田美術館で開催された「おおかみこどもの雨と雪」公開10周年記念イベントの企画展で展示されていた細田監督のサインと絵が入ったパネルは原画パネルか。

細田監督がサインと絵を描いたパネルは、町が公開10周年を記念し製作したもので原画ではない。

企画展終了後、アルプスの湯に展示している。

教育委員会

8月に地域クラブ推進委員会が発足したが、現在の状況は。

令和5年度より中学校の部活動が地域移行する。先行でカヌー部と硬式テニス部が校外クラブに移行し推進委員会に加入した。その他の部活動は移行の手続き中。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

かみいち総合病院

病院の人員確保は。

施設の看護基準を満たしている。

臨時看護師の時給が低いのでは。

条例に定めた給料表に基づき支給しており、前歴加算もしている。

福祉課

感染対策費は、今後のワクチン接種の分か。

10月からのオミクロン株対応型接種分。4回目接種までは、令和3年度予算の繰り越しで対応できた。

4回目ワクチン接種済み人数と割合は。

約5000人終了で、全町民の25%。

繋がりにくいワクチン接種電話予約に関する

対応は。

大部分が3回目接種を完了。4回目からはインターネット、電話

予約で対応している。

10月からのオミクロン株対応型はインターネット、電話予約が可能

となる。

1、2回目ワクチン接種の対応について。

町民の9割近くが接種済みの初回接種は、

9月末で終了。10月からは、オミクロン対応

型ワクチン使用の追加接種がメインとなる。

小中学生のワクチン接種率は。

接種率は、全国平均同様に低い。5〜11歳

の小児接種は200人程で、接種率20%。10

代の接種率は30%。

高齢者福祉燃料券を町内のガソリンスタンド

全店舗で使えるようにできないか。

全ての町内ガソリンスタンドで使えるよう交渉していきたい。

建設課

下経田上条沖線の補修内容と工事箇所は。

田んぼ側に傾いた擁壁をやり直す工事。工事箇所は中開発及び青出新地内の2カ所。



中開発地内

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。



校外部活動の街灯整備 公民館和室のフロア整備

寺西庄司 議員

新町の防災空地

議員 新町交差点横の土地と建物の状況と、今後の活用計画はどうなるのか。

財務課長 同物件について、相続人の方から町に寄附したいと相談があったので、内部で検討した結果、寄附をお受けすることにした。今後は、防災空地として整備するこ



新町防災空地の予定敷地

とで、交差点付近の視界を確保するとともに、火災など、有事の際の一時避難場所として活用してもらい、地域の方々の安心安全に寄与するスペースにしていきたい。

0円空家の手応え

議員 0円空家が話題になってきている。状況と意気込みはどうか。

建設課長 無償の空家を紹介し空家の提供者と、取得者の双方に補助をする制度は全国的にも珍しく、全国版の報道や、ネットニュースに取り上げられているので、県外や町外からの問合せや取得希望が多くなっている。今後はさらに拡大させたい。当局

としては、当町オリジナルの本制度をしつかりと軌道に乗せていけるよう鋭意取り組んでいく所存だ。

校外部活動の街灯整備

議員 薄暮時の校外部活動で疲れて帰ってくる子供たちの為に、街灯整備されていない危険個所に照明を増設して欲しい。

教育委員会事務局長

今後、学校部活動の地域クラブへの移行に伴い、時間帯によっては練習場所との移動において危険と感ずる場所があると思われる。教育委員会としては、今般設立した上市町地域クラブ推進委員会において、クラブから実情を確認するとともに要望を聞き、街灯整備を関係各所に要望していく。

公民館和室のフロア整備

議員 町立の地区公民館の畳の間を、使いやすくするために、フローリング整備が必要だ。

教育委員会事務局長

公民館の利用者は高齢者の方も多く、また、生活様式の変化か

ら、利用しやすい環境づくりが重要になってきていると思われる。そこで、床の改善について各地区からのニーズをしっかりと聞きした上で、どういった対応ができるか、検討していきたい。



相ノ木会館 2階和室

一般質問

プレミアム商品券事業の効果 事業後継者の育成



廣田 透 議員

プレミアム商品券

議員 現在行われているプレミアム商品券事業について、利用効果と今後の展望はどうか。また消費喚起に繋がっていると考えられるか。

産業課長 本年度のプレミアム商品券事業は町内店舗での消費喚起を目的に、プレミアム率40%で実施している。

第1弾の販売では全町民が公平に購入できるように、全世帯に購入引換券を送付したところ、3,029世帯で9902冊、全町民の51%に購入頂いた。今回の第2弾の販売では残り1万2000冊の商品券を抽選で販売することとし、町民に限らず一人6冊まで購入可能とし売り切れた

いと考えている。

利用効果については、本商品券が町内各店舗で利用されることで、町内で資本をしつかり循環させるとともに、町民の皆様には、昨今の物価高騰に対応した家計の支援策として活用してもらえるものと考えている。



剣岳プレミアム商品券

事業後継者の育成

議員 令和4年度から始まった「地域おこし協力隊」制度を活用した事業後継者の支援について、現在の希望者と今後の展望はどうか。

産業課長 町内で長年営業してこられた事業所に後継者がなく廃業せざるを得ず、地域で親しまれてきた伝統の味や技術が引き継がれないことは、町にとっても大きな損失である。

地域おこし協力隊制度を活用した施策は最大3年間、事業者のもとで業務のノウハウを取得する間の給与を地域おこし協力隊員として町が支払うほか、顔合

わせ期間やお試しインターン期間を設け、相性や人となりをじっくり見極められる手厚い内容となっている。

これまで残念ながら具体的な相談はまだないが、今後も町商工会を通じた啓発や町内金融機関等への事業紹介など息の長い取り組みを続け、事業承継を考える町内事業者を支えられるよう努力していく。

かみいちDeaiBar

議員 かみいちDeaiBarによる出会いの結実とその後はどうか。

企画課長 令和3年度より開始した「かみいちDeaiBar」事業は吉本興業に運営を委託し、現在まで計7回のイベントを実施し、延べ111人が参加し

た。

この事業は「人と人とのフラットな出会いの場」「魅力的なゲストや共通の趣味を持つ人との出会いの場」「町の魅力的な場所との出会いの場」という3つの場との出会いをコンセプトに行っており、今年度の事業からは年齢の上限をなくし、既婚、未婚問わず出会いや交流の場となるよう門戸を広げている。アンケートでは78%がまた参加したいと答えており、着実に関係人口になっていると実感している。

令和4年度の残り4回のイベントで町の関係人口増に寄与し、将来的な移住促進に繋がるよう精一杯取り組んでいく。



イノシシの被害防止対策 上市川右岸幹線水路

當波紀子 議員

イノシシ侵入防止
柵設置工事に参加
した

議員 侵入防止柵の設置・維持管理における安全啓蒙と、これからのイノシシ被害防止対策は。

産業課長 上市町内における侵入防止柵は、令和3年度末で電気柵91km、恒久柵30.5kmとなつている。今のところ柵の設置・維持管理における事故の報告は届いていないが、柵の設置・管理作業中は、事故に繋がる様々なリスクが潜んでいるため、



新設した動物侵入防止柵

作業現場の状況を事前に把握していただいたうえで、機械や道具を正しく使用し、無理をせず安全を確認しながら、適度な緊張感をもつて作業していただくことが大切だと考えている。

このため、町とJAアルプスが連携して、ホームページ、広報誌、メールマガジン、営農情報により安全対策の啓発に努めている。

また多くの集落では、万が一の場合に備えて中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用

産業課長 上市川沿岸土地改良区が管理する用水路は、農業用かんがい用水の確保だけではなく、防火用水や流雪用などとして、上市町内で幅広く利用され

上市川右岸幹線水路

し、保険会社や共済組合などで取り扱っている障害保険に加入している。保険未加入の集落には、本制度を活用してもらいたい。

これからのイノシシ被害防止について、侵入防止柵を設置していない箇所でも、ご要望・ご相談があれば設置の推進を図っていく。

議員 大規模修繕の必要性があるのでは。特に積泉寺円筒分水槽から野島までの暗渠部分を中心に。



幹線水路から続く広野用水

ている重要な幹線水路である。過去には上市川沿岸土地改良区が土地改良法に基づき事業申請を行い、国50%県25%町10%地元15%の負担割合で県が事業主体となり平成24年度から26年度にかけて、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて、暗渠区間3055mを改修した。

しかし、積泉寺円筒分水槽から野島地内にある広野用水ドギ合口までの2491mの内、暗渠区間となつている2126mについては、未改修の状態である。その未改修部分を改修するにあたっては、地元負担金も発生するので、まずは施設の所有者である上市川沿岸土地改良区の中できちんと合意形成をしていただく必要がある。

そのうえで町に要望があれば、県と連携を図り、地元にも有利な事業メニューの採択に向けて協力していきたい。

一般質問

弓庄城跡の調査と史跡公園の整備
館櫓「町の観光として活かせ」

松谷英真 議員

弓の里歴史文化館

議員

①弓庄城本丸跡の調査と史跡公園整備の実施を。

②新規展示の実施を。

③専門員の増員や職員の配置をどう考える。

教育長 本丸一帯は昭和50年代に実施した圃場整備事業の際、協議により対象地域から除外され、現状保存がなされている。

黒川遺跡群の保存整備は十分な補助金ももらえず計画が大きく遅れている。弓庄城址の調査については、黒川遺跡の完了を注視しながら将来的な事業の可能性について研究したい。

常設展は年間を通じて開催している。利用促進のために企画展を開催したいと考える

が、黒川や圃場整備に伴う埋蔵文化財調査など担当業務の増加により実現できていない。今後小規模な変化でも見どころをアピールする工夫をしたい。

館櫓(たちやぐら)

議員

専門員の募集を行ってきたが、応募者がいなかった。今後は社会人枠での採用も視野に

募集の在り方を検討したい。

①館櫓(たちやぐら)の建設された経緯は。

②施設の老朽化も激しいが、今後の施設の運営・管理は。



弓の里歴史文化館（正面）



館櫓(たちやぐら) 全景

教育長

館櫓は弓庄城の本丸一帯の地割や日中砦との位置関係を高所から確認できる展望台として、地元の要望もあり建設した。建設から30年が経ち、老朽化が目立ち周辺の雑木の成長により視界不良となっており、解体撤去も視野に入れざるをえない。

議員 圃場整備事業から除外された本丸一帯は、農地としては利用されており管理に苦勞をされていることに理解をされたい。

史跡公園整備は町の

観光の目玉として活用するの一手である。公園整備も含めて前向きに進めていただきたい。石碑までの道路整備は至急お願いしたい。

企画展などの開催には専門員の増員は欠かせない。様々な方策を駆使して探していただきたい。

館櫓の現状は管理してこなかったことが問題であり、雑木の管理や施設の管理をして、やがて残しておけばよかったと言われないうちに検討願いたい。



豪雨に対する防災 0円空家バンク等の空家対策

廣田 泰三 議員

**8月豪雨における
上市町の被害状況**

議員 8月は富山県内でも大雨警報や洪水警報、土砂災害警戒情報 が頻繁に発表された。20日には、上市町において警戒レベル4避難指示が一部地域に発令された。

上市町の被災状況は どうだったか。

総務課長 8月20日の豪雨では、上市川、白岩川、大岩川の水位の急激な上昇に伴い、新屋・館地区及び石仏・竹鼻地区を対象とした避難指示を発令した。避難所として開設した柿沢会館へは10人が避難された。なお、竹鼻・石仏地区の避難所として開設した宮川公民館については、避難された方はいなかった。

今回の避難指示の発令においては、過去の災害対策基本法の改正を踏まえ、避難所への避難だけではなく、自宅の2階への移動等による垂直避難の呼びかけも行なった。

垂直避難や安全な場所に住んでいる親戚や知人宅への避難については、今後も平時からの周知に努めていく。

人的被害以外では県道極楽寺西種線の極楽寺地内において道路沿い谷側法面の一部崩落、林道坪野蓬沢線等9路線で法面崩壊や土砂の流出により一部通行止めとしたが林道自体の大きな損害はなく、現在は通行可能となっている。また、釈泉寺地内のまま子滝遊歩道において法面の一部崩落があったが、土砂を撤去し現在は通行

可能となっている。

今回の豪雨では、幸い大きな被害は発生しなかったが、台風シーズンを迎えることもあり同様の災害が起こると考えられる。町では危険個所の把握や気象情報の収集に努め、町民に対し日頃からの防災対策等、危険個所の確認等引き続き周知していく。

**0円空家バンクと
空家バンク、特定空
家等の対策**

議員 今年度から始まった上市町0円空家バンク制度が報道されたことにより注目され、多くの問合せがあるとのこと。従来からの空家バンクの登録件数も増え、今後、移住定住に期待する。

しかし、まだ多くの空家が存在し、倒壊の

**危険性や周辺に対し危害が及びそうな空家は
何軒あるのか。**

建設課長 9月1日に町のホームページをリニューアルし、既存の空家バンク、0円空家バンクの両方を、町の移住サイト「かみスイッチ」から直接アクセスできるような見直し、写真や間取りの情報を増やし物件のイメージが分かりやすいものに改善した。

スマートフォンやタブレットでの視認性、検索の向上にも取り組んだ。

現在、0円空家バンクへの登録に向け、調査中の物件が10件以上あり、出来る限り登録、そして契約成立へと結びつけられるよう努力していく。

特定空家等については、先月、荒田地内では



0円空家バンク第6号物件の内観（北陸特有の古民家構造である「桝の内造り」の和室）

略式代執行による取り壊しを開始したところであり、完了すれば、町内においては、倒壊著しく保安上危険となる恐れのある特定空家等は無くなる。

他にも周辺の生活環境の保全に直ちに影響を及ぼさないまでも著しい損傷や傾斜、崩壊がある空家を12件把握しており引き続き所有者、関係者の特定に努め、適切な管理を促していく。

一般質問

おおかみこどもの「花の家」の支援を



酒井桂之 議員

新型コロナウイルス
感染症対策は

議員 新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗状況、感染者数と病床使用率は。

副町長 4回目接種は9月5日現在で約5000人が、全町民に占める割合は25・8%、感染者数は2011人で7月中旬から1日あたりの感染者数は10人〜40人で推移し、高止まりが続いている。かみいち総合病院が令和2年から設けている病床4床で8月上旬から稼働している。

議員 感染しても、慌てないために体調不良になった時の受診や検査方法は。

副町長 発熱の症状があり、感染が疑われる場合はかかりつけ医院

やかみいち総合病院の発熱外来に電話で予約して、受診して検査を受ける。県では、有症状者向けに無料で抗原検査キットを配布し、自身で検査できる取り組みを実施している。

議員 自宅療養者の買い物支援をどう進めるのか。

副町長 上市町社会福祉協議会が新型コロナウイルス感染症生活支援（買い物代行）事業を8月から開始している。親族から支援を受けることができず、食料品、日用品の買い物代行を手数料無料で受けられるサービスが実施されており、4件の実績がある。感染者が高止まりの中、少しでも安心して検査を受けられるよう、県、かみいち総合病院や関係団体と支援体制

を維持したい。

「おおかみこども
雨と雪」イベントは

議員 「おおかみこども雨と雪」公開10周年記念イベントの成果を今後の移住・定住の促進にどのようにつなげるのか。

企画課長 7月23日〜9月4日までのイベントに1万701人が参加し、アンケートの回答者・1464人のうち、8割が町外在住者で自然の豊かさや温かさを体験し、訪れたいと感想を数多くいただき、「おおかみこどもの森づくり」プロジェクトには、9月6日現在、全国の1万1000人を超す方から支援金が集まっており、「おおかみこどもの雨と雪」の映画ファンや登山が趣味の

方から「映画のモデルの町を訪れてみたい」「自分も森づくりに参加したい」とコメントが多く寄せられた。令和5年に一般の方が参加する植樹祭が予定され、10周年記念イベントをきっかけに関わりを持つた多くの方々と今後さらなる交流を深め、町の関係人口を増やし、移住・定住に繋げていきたい。

議員 「花の家」の支援をどう進めていくのか。

企画課長 町では「花の家」が関係人口を拡大していくうえで重要な拠点であり、観光客の安全面や衛生面を確保するための経費を「花の家」に毎年補助金を交付し、管理運営面をサポートしており、NPO法人の意見や要望を伺いながら、

大勢の観光客に訪れていただける施設の維持管理を引き続き支援したい。



公開10周年企画展の様子（西田美術館）

避難行動要支援者 個別避難計画



松本 寛 議員

議員 先日の9月1日は「防災の日」。この機に上市町の防災体制について問う。以前に新聞にて避難行動要支援者の個別避難計画作成の県内各自治体の進捗状況が報道されていた。残念ながら上市町は県内で最も個別避難計画の作成済みである割合が低く0・1%しかなかった。

計画作成にあたり、個人情報取り扱いや支援者確保に課題があるのは重々承知している。状況も刻々と変化するので作成が進まないのも致し方ない部分もあるが避難行動要支援者の個別避難計画作成を今後どのように進めていくか、見通しを聞きたい。

福祉課長 令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画は優先度が高い方から作成することが適当であり、①地域におけるハザードの状況、②当事者本人の心身の状況、情報取得や判断への支援が必要な程度、③独居等の居住実態、社会的孤立の状況などによつて優先度を判断するように記載されている。

こうした中、町独自の避難行動要支援者申出カードの様式に個別避難計画に必要な項目を加える等の見直し作業に着手していく。

民生委員等の協力を得ながら最新の情報に変更していく。そのほか要介護3以上の認定を受けている方、身体障害者手帳1級及び2級の交付を受けている方や療育手帳の重度(A)の判定を受けている方については、ご本人やご家族の方が福祉課窓口に来られた際に本制度の説明をし、1人でも多くの方の個別避難計画を作成していく。

個別避難計画（※）の作成

※ 避難行動要支援者（高齢者、障害者等）ごとに、避難支援を行う者や避難先等の情報を記載した計画。

<課題>

避難行動要支援者名簿（平成25年に作成義務化）は、約99%の市町村において作成されるなど、普及が進んだものの、いまだ災害により、多くの高齢者が被害を受けており、避難の実効性の確保に課題。

〔近年の災害における犠牲者のうち高齢者（65歳以上）が占める割合〕
 令和元年東日本台風：約65% 令和2年7月豪雨：約79%

<対応>

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、**個別避難計画について、市町村に作成を努力義務化**。

〔任意の取組として計画の作成が完了している市町村 約10%〕
 〔任意の取組として一部の計画の作成が完了している市町村 約57%〕

※併せて、マイナンバー法を改正し、名簿・計画の作成等に当たりマイナンバーに紐付く情報を活用



避難行動要支援者が災害時に避難する際のイメージ

個別避難計画の作成（内閣府ホームページより抜粋）

一般質問

学校給食に地元産有機食品を



碓井憲夫 議員

10年先を見据えた
施策が必要である

議員 上市町は早くか

ら総合計画に有機農業
の促進を掲げていた。

平成18年には有機農業

の推進に関する法律が
でき、国あげて有機農

業を推進している。

農薬、化学肥料を使

わない有機農業で作ら

れる食品は安心・安

全、栄養があり美味し

いだけではない。

① 環境保全の役割

土壌有機物を増や

し、土中に温室効果が

を固定する。

② 移住促進の役割

都会を離れ田舎で農

業をやりたい。そうし

た若者が増えていて

が、大型でなく小規模

な有機農業を希望され

る。

③ 持続可能な農業の

推進

国が推進する規模拡

大の農業だけでは未

来はない。35年前に都

会から大沢野の里山に移

住し農業を始め、いま

では20世帯にまで拡大

された小原営農センタ

ーの設立者は「有機だ

からここまでこれた」

と言っておられる。有

機だから移住者など、
人手が集まる。

『本物が生き残れる

時代』上市町は交付金

の対象とならない県下

唯一の自治体で遅れて

いる。先進地は技術的

な支援と価格保障を行

い、学校給食を基盤に

農家と連携し有機米を

生産拡大している。

教育長 子どもに安

心・安全なものを食べ

させたいとの思いか

ら、日頃の食事に有機

食品を積極的に取り入

れている家庭があり、

また、全国的にみると

そうした農産物を給

環境保全型農業交付金状況

自治体	件数	面積ha
富山市	8	129
高岡市	5	50
氷見市	5	49
南砺市	12	212
砺波市	5	28
小矢部市	3	14
射水市	1	4
魚津市	3	8
黒部市	3	27
滑川市	1	9
立山町	2	12
入善町	4	32
朝日町	3	63
舟橋村	1	11

(農水省 HP より 令和3年度)

食食材として、先進的
に導入している自治体
があることも聞してい
る。しかしながら地元
産有機食品を給食に使
用するにあたっては、
供給量を安定的確保で
きるものが絶対条件と
なる。さらに価格の面
においても、保護者の
皆さんの負担も考慮し
ながら、一定の食材料
費の中でなんとかやり
くりしている状況を踏
まえると、学校給食で
有機食品を活用してい
くことは現実問題とし
て困難と考えている。

産業課長 町に有機農

業の生産者はほとんど

いない状況である。先

進地では、有機農業に

ついて長年研究され、

給食提供を始めてから

数年で農家数や生産量

の増加に繋がっている

が、当町では相当の時

間が必要と思われる。

国は2050年度まで
に全耕地面積の25%を

有機農農地になると昨
年打ち出しているが具
体的な対策が見えてな
い。町は、国の動向を注
視しつつ、県やアルプス
農協など関係機関と連
携し情報収集に努め
る。なお、国・県・町で支
援する「環境保全型農
業直接支払交付金」の
対象に至らないまでも
意欲的に有機農業に取
り組みたいという方が
おられれば周辺の農地
耕作者の了承を得るこ
とを条件に、町単独の
補助制度創設を検討し
たい。



豊岡市の有機水田



役場敷地内の景観づくり

椎名 寛子 議員

花と緑のある景観

議員 「役場敷地内の雑草が目につくがもう少しどうにかならないか」と町民の方からのご意見があった。今後のことを考え防草シートや砂利を敷いたらどうか。

財務課長 役場敷地周りの樹木については、町内業者へ委託し、剪定や薬剤散布、雪囲いなどの維持管理を行っているが、草刈り業務は委託の中に含まれていないため、財務課管理班において適宜行っている。「雑草が目につく」とのお声は今回初めて伺った。手間がかからない点では、防草シートなども手立てのひとつではあるが、まずは、除草の回数を増やすなど、来庁者に不快な思いをさせない

よう、適切な維持管理に努めていきたいと考えている。



役場正面 植栽

議員 役場敷地内に季節の花などの彩りがあってもいいのではないかと。住民の方でプランターを置きたい方がいたら可能だろうか。役場は町の顔であり様々な方が利用する。明るく綺麗な印象をもってもらいたい。

財務課長 役場の出入り口に町民の方のプランターなどを置いてはどうかとの提案だが、

現在、働く婦人の家、正面玄関において、花と緑の銀行の皆様のご厚意により、様々な花のプランターを設置し、庁舎周りの景観づくりに一役かっただいています。町の顔でもある役場の出入り口に花を飾ることは好ましいと思うので、もしそういったご意志のある方がいたら、できるだけ前向きに設置を検討させていただきたいと思う。



花と緑の銀行 上市支店 花壇



働く婦人の家 正面玄関

一般質問

障害児用の室内遊戯スペースを 病後児保育の現状は



百塚 怜 議員

障害児と家族の抛り所

議員 県内には障害児とその家族が安心して遊べる専用スペースが存在しない。障害児をもつ親は、我が子が地域に出て社会参加する機会と場所を求めている。町として室内専用スペースを設置せよ。

福祉課長 障害児と家族向け専用スペースが町内に限らずともどこかにあることは望ましいと考えている。

議員 カミールに専用スペースを設置せよ。

産業課長 カミール3階には小学生が利用するための「児童遊技コーナー」があるが、小学生の利用がないときであれば、障害児やその家族が貸し切りで利用することも可能と思われる。ただし、経費

によって実現可能性が変化するので、今後、現在の指定管理者である(株)上市まちづくり公社を含めて協議したい。



カミール3階遊技コーナー

病後児保育の現状

議員 富山県は共働きの率や女性の正社員率は全国の中でも高いが、女性管理職の割合はとも低く、キャリアアップ出来る環境が整っていないことが示唆さ

れる。病後児保育の強化は女性の社会進出・キャリアアップに必須であり、移住世帯やひとり親世帯を支える施策でもある。体制強化への課題は多く、まだ具体策は持っていないが、町民への周知を図るため、町の病後児保育の現状を示せ。

福祉課長 町内では民間1施設で実施している。対象は小学校3年生までの児童で、祝日、盆、年末年始を除く平日8時30分～17時まで利用可能。最大利用人数は、同一の診断の場合は3名まで受け入れることができ、異なる診断の場合は2名が限度。児童の症状や病状に応じた留意点や処方に基づき、病後児の専用室で専任の看護師や保育士らが保育している。昨年度より、

新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて、法人運営施設の利用者への受け入れとなつている。近隣市町村とも連携しているが、受け入れ施設がまだ不足していることは認識している。看護師の確保などハードルは高いが、町としても町内の民間施設へ要請を続けていく。

議員 6月定例議会で

あと1日保育園は休ませたいけど・・・
仕事は休めない・・・

インフルエンザや感染性胃腸炎の回復期は、高齢者のいる実家には頼めない・・・



子育て応援宣言

追加質問時に提案した「子育て応援宣言」に

ついて、現時点での検討状況はどうなっているか。

町長 今、私個人の意見を言うのは適当でない。当町には現在宣言があるので見直しも含めて検討させてもらう。10月末に子育て環境検討プロジェクト会議があるので、そちらで相談し、町民の方々からの意見もいただきながら検討したい。



視察研修報告

産業厚生常任委員会 岐阜県下呂市 (7月25日)

岐阜県下呂市での就農支援策についての視察を町議会議員11名で行った。現在同市では農業従事者の育成や市外からの移住政策の一環として就農支援を行っている。主な作物はブランド化された飛騨トマトであり、就農支援の約8割を占める作物となっている。これは同市の主要な農産物であり、出荷先として農協と提携する事で全量出荷ができ、さらに梱包などの作業からクレーン対応までを一貫して任せられる安心感がある。新規就農者の生活面では2年の研修期間を経て実務で5年間は同市の支援を受けることができる。このことから7年間はリース

クが少なく、安定した生活が保障されている。また、住居も完備されており、一人あたり月3050円(光熱費・水道代・駐車場代含む)で居住が可能である。また、家族で住める一戸建てタイプの住居も完備されている。これらの手厚い支援のもと、同市では40名以上の新規就農実績があり、うち半数は市外からの移住者である。このこと

新規就農者住居



馬瀬地区農業研修生宿泊施設前にて



(廣田 透)

総務教育常任委員会 三重県津市美里町 (7月26日)

出生数の減少により少子化が進み、児童・生徒の減少が続く中、近い将来における小学校、中学校のあり方を考え、平成29年4月に義務教育学校として開校した津市立「みさとの丘学園」の開校までの経緯と現地を視察した。

津市美里町では、少子化により児童数がだんだんと減っていく中、平成18年に3地域で複式学級を廃止する方向で地域懇談会を開催した。平成19年から小学校のあり方について、検討と協議が行われてきた。しかし、各地域の意向や保護者の強い要望から方向はまとまらなかった。

平成25年2月に津市小中一貫教育導入が公表され、4月には津市教育振興ビジョン後期計画により、7月から美里地域で小中一貫教育による望ましい教育方針を3地区それぞれで保護者説明会や住民説明会を開催してきた。平成26年度から27年度においては、開校に向け「美里地域小中一貫校構想推進会議」が10回開催されている。

そして、平成28年4月に学校教育法の改正により義務教育学校が制度化された。当初は小中一貫校の予定だったが、「みさとの丘学園開校準備委員会」が発足され義務教育学校の開設に向け進められることとなった。

義務教育学校の開校に校長として尽力された方から話を聞くことができた。当時、全国でまだ22校しかない義務教育学校を手探り状態で開校にこぎつけた各先生方の教育に対する熱い思いと強い信念が感じられた。

みさとの丘学園では、前期課程を小学校課程とし、後期課程を中学校課程としているが、独自性をもって学校運営に取り組んでいる。

(廣田泰二)

出生数の減少により少子化が進み、児童・生徒の減少が続く中、近い将来における小学校、中学校のあり方を考え、平成29年4月に義務教育学校として開校した津市立「みさとの丘学園」の開校までの経緯と現地を視察した。

津市美里町では、少子化により児童数がだんだんと減っていく中、平成18年に3地域で複式学級を廃止する方向で地域懇談会を開催した。平成19年から小学校のあり方について、検討と協議が行われてきた。しかし、各地域の意向や保護者の強い要望から方向はまとまらなかった。



職員室で説明を受ける

町民の声 紹介



竹 鼻
酒井正秋さん

● **議会に期待することは**
 ・ 少子化対策の一環として子どもが安心安全に通学できるように、竹鼻をスクールバスで通える地域にして欲しい。
 ・ 竹鼻には多くの企業があり、その従業員も利用するのでも利便性／安全性の面から河川敷の道幅を拡げて欲しい。
 ・ 劔岳のビューポイントを巡るサイクリングロードのような、立山連峰の景観を活かした観光地を上町に整備して欲しい。
 ・ この先も上市町の独自性が光るまちづくりを目指してください。



稗 田
酒田新吉さん

● **議会に期待することは**
 今から9年前、上市町新町制60周年記念事業の劔岳登山に参加しました。あいにく登頂の日は途中で激しい雨に見舞われ、頂上を目前に引き返すことになりました。しかし、翌年、上市町や上市峰窓会の協力を得て再度挑戦し頂上に立つことが出来ました。これがきっかけで毎年近隣の山へ出かけるようになり昨年は穂高岳、槍ヶ岳に登り、北アルプスはほぼ踏破しました。上市峰窓会の皆様には感謝しております。
 我々の子供の頃は、神社や公園は子供であふれていました。最近は子供の声がどこからも聞こえてきません。
 少子化、人口減少は大問題、この対策が何よりも最優先課題ではないでしょうか。
 町議会のメンバーがかなり入替わりしました。新人の若い議員の皆様は体力と発想力で、先輩議員の皆様は人脈と経験を活かし、企業誘致、移住者増等、人口増に知恵をしぼっていただきたい。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

● 会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

● アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

議会広報特別委員会

委員長	松本 寛
副委員長	酒井 一好
委員	百塚 怜
	廣田 透
	椎名 寛子
	當波 紀子
	廣田 泰三
	堀田喜久男

編集後記

新人議員6名を含む新メンバー8名で広報誌を作りはじめて、はや四誌目、一年になります。慣れた頃が一番危ないなどと申しますが、前号に編集ミスが見つかり、まさにその通りだなあと実感しております。本号は再度気を引き締めて編集しました。

今議会から紙資料がなくなり、パソコンだけを使用した議会になりました。上市町の議場はクラシックな造りでして、そこに並んだパソコンをぜひ見に来てください。

ペーパーレスは良いところもあり(かばんが薄くなりました)悪いところもあり(書き込みができなくて別紙必要)といった感触ですが、慣れるしかないですね。これは良い方の「慣れ」です。

(當波 紀子)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>